

# 農業参入で「地元起こし」

## 地域住民を積極雇用

遊休農地も活用 直売所・カフェ併設

川越市の  
三共木工

【埼玉】段ボール製品の製造や自動車教習所、プロパンガスなどの事業を展開する川越市の三共木工(株)(森田精一郎代表取締役)では、「農業で地域振興と雇用の創出ができないか」という考え

から、2017年に農業参入。同市農業委員会や県の協力もあり、農地は約4畝まで拡大した。うち2畝については、遊休農地を活用している。

現在はトマト、イチゴ、サツマイモなどの野菜を生産。さらに加工も

行い、圃場に併設の直売所とカフェ(@ファーム)などで販売している。「安全・安心な野菜を消費者に届けたい」という思いから、イチゴ狩りに利用するハウスでは内部をバリアフリーにし、直売所では選果場が店内から見えるようガラス張りにするなど、消費者目線の工夫が随所に施されている。

また、同市内在住者を

直売所から選果の様子が見える



直売所前で松本さん(左)と松崎さん



積極的に雇用しており、現在農業事業部で働く従業員約35人の多くが同市在住者だ。

事業の立ち上げに関わった農業事業部の松本弓彦さんと松崎孝洋さんは今後について、「複数の作目で収穫体験を実施し、地元を盛り上げていければ」と語る。

@ファームの所在地  
川越市今福1043の3。